

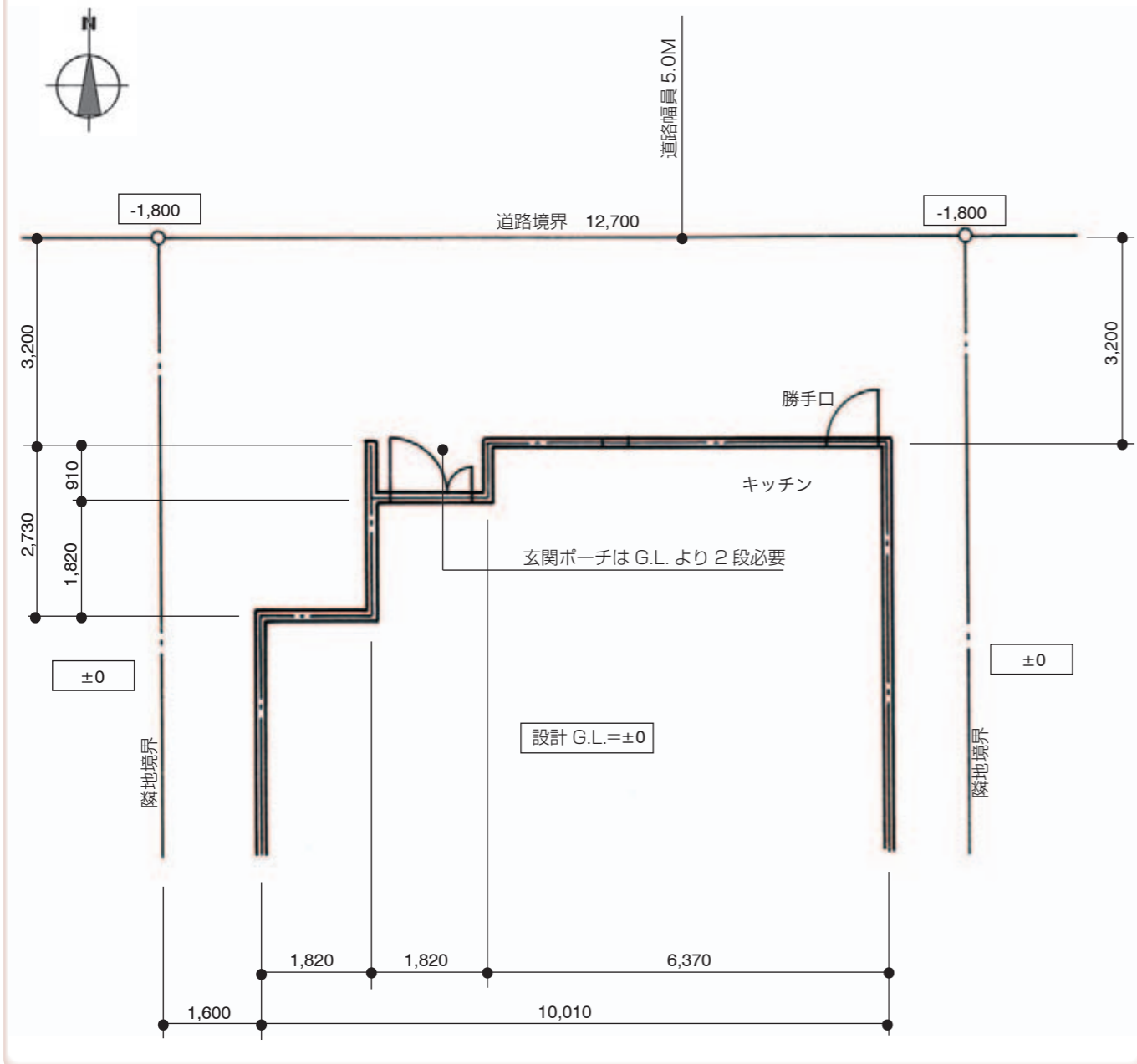
## 第3回目の課題について

それでは今回の新しい課題をご覧くださいませ。

敷地条件は北入りで、道路と敷地の高低差は1,800mmとなっています。

下記の敷地条件や施主の要望を踏まえて、ゾーニング図・平面図・立面図（可能であればパース図）を作成し、次号の模範プランと比較できるように準備しておいてください。

### 1. 敷地条件



### 2. 施主の要望

- 駐車場を1台分確保してください。
- 道路と敷地の高低差が大きいので玄関までのアプローチ（階段）を提案してください。
- 玄関ポーチはアプローチと合わせて計画してください。（標準ポーチの天端高さはG.L.より350mm上がり）
- キッチンの手口から出たところにサービスヤードを提案してください。
- 建物の東および西側は人の通路を確保しておいてください。
- 東および西隣地境界は内積みでブロックフェンス、必要に応じて擁壁を設けてください。
- スタイルはオープン、クローズどちらでも結構です。

## 「私ならこう考える! ゾーニング手順と計画時のポイント」

今回も私がプランニングする際に、どのような事を考えているのかその一部をご紹介します。プランニングの参考にしてみてください。

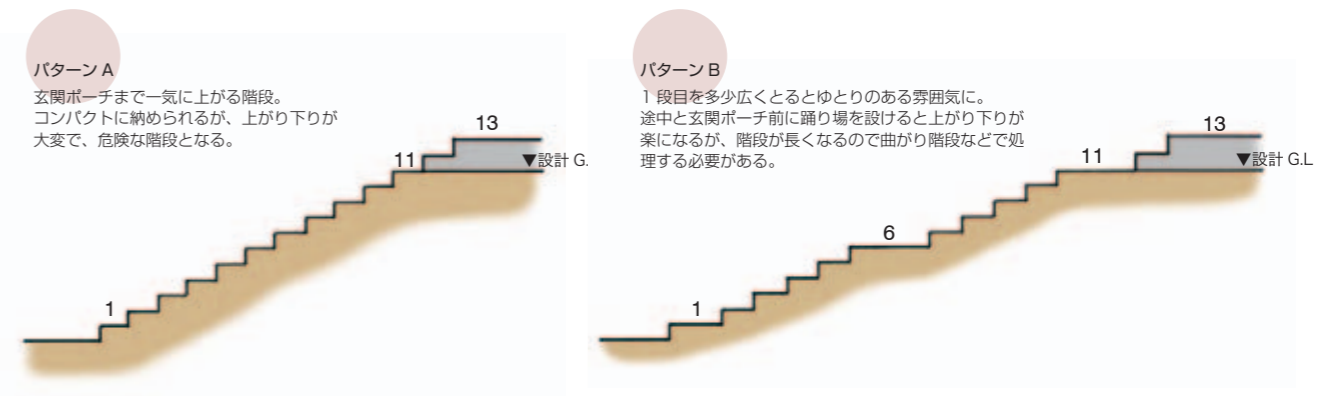
### 1. 階段の段数の検討

このように道路と敷地の高低差が大きい物件の場合は、必要な階段の段数についてまずチェックしておきます。今回の課題における敷地と道路の高低差は1,800mm(1.8m)となっていますので、この高低差1,800mmを仮の段数で割ってみて、その数値が1段あたりの蹴上げの寸法となるので150mm~180mm程度となるように段数を決めていきましょう。

仮に8段で計算すると $1,800\text{mm} \div 8\text{段} = 225\text{mm}$ となり蹴上げが高すぎることがわかります。10段で計算すると $1,800\text{mm} \div 10\text{段} = 180\text{mm}$ となり、上限値ギリギリです。階段の段数が少ない場合は問題ありませんが、今回は段数が多いので1段追加して11段として再度計算すると、約164mmの蹴上げとなるのでちょうどよいことがわかります。

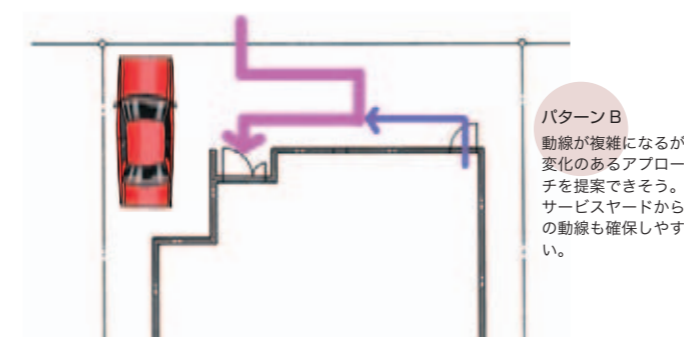
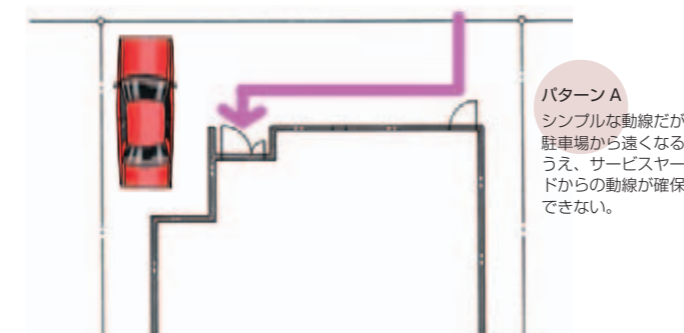
### 2. 階段の考え方

では次に11段の階段+玄関ポーチ2段の計13段をどのように計画すればよいのか検討しましょう。



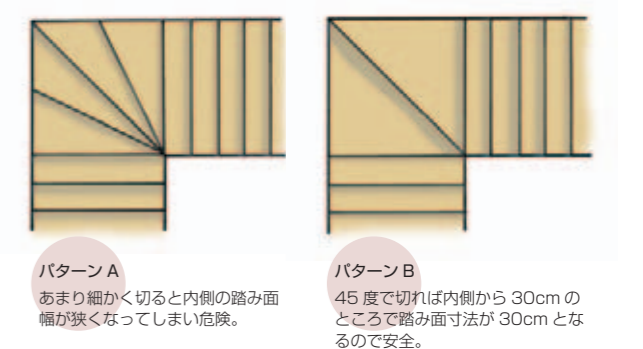
### 3. アプローチ動線の検討

次にアプローチ動線をどのように確保すればよいのか、駐車場を北西角にすると検討してみましょう。



### 4. 曲がり階段の注意点

アプローチ動線をパターンBのようにすると、曲がり階段を採用することになると思いますが、その場合は踏み面の寸法について注意が必要です。



### 5. 転落の恐れがある場所での手摺の高さ

転落して危険な場所には、高い方の床から1,100mm以上の高さの壁または手摺が必要となるので注意しましょう。

